

## 道

NO. 120

2012. 12. 3

## 立場と状況を理解して・・・!

定期考査が終了して明日から、第2回三者面談が行われます。この面談では、11月の面談同様に午後の授業を一部カットして実施されることとなります。これからも、入試相談や出願、受験、発表など3年生の独自の動きで学校生活が送られることが沢山出てきます。したがって、この3年生独自の時間に是非とも、やって欲しいことや心構えそして、考えて欲しいことを改めて確認しておこうと思います。

## 1. 面談期間中に取り組むこと

来週の11日(火)まで、3年生は進路に関する個別面談を実施します。2学期の成績や実力テストの結果をもとに保護者の方とみんなと担任で相談したり、進路の方向性を決定したりするのです。そのために、この期間は自分の面談の日時以外は早い下校にです。みんなは、多くの時間を持つことになるのです。今みんなに必要なことはというと、自分の進路希望を実現させるためにより以上の学力を身につけていくこと。定期考査が終了したからといって、いつまでもいつまでも、終わったことに浸ってばかりはいられない。そう、学習をすることです。テストが終了した直後だからこそ、勉強の不足している教科や弱点の確認ができるはず。定期考査や実力テストの問題用紙や解答用紙を今一度、ながめてみて、やってみて、できなかった部分を学習しよう。それを終えてしまっている者は、あまり多くの問題集や参考書を手がけるのではなく、できなかった所や苦手な所を集中して学習するようにしよう。また、残った2期の日々や冬休みの学習計画をしっかりと立てて、実行することも必要。推薦受験を希望している者は、自分は“推薦だから・・・”なんてことは思ってもいいと思いますが、推薦受験には面接だったり、作文その他準備しておくことが沢山あります。どんな受験形態にしろ、準備をしっかりと整えていくことには変わりはない。是非とも、しっかりと進路に立ち向かっていこう。

## 2. 心構えについて

面談期間や入試相談期間には3年生の先生方は、進路の相談をしたり、高校へと実際に足を運んで必要な手続きを行ったりします。みんなもそんなことを理解して、自分たちの行動を考えていこう。下級生に迷惑をかけるような下校をしないことや面談前の待ち時間の過ごし方を工夫すること、何より注意や指示にはしっかりと耳を傾けて、誠実に対応して欲しいのです。また、テストが終了し、面談も終了したからといって、安心して過ぎるようなことがないようにしよう。学校外でのトラブルなど起こさぬよう、巻き込まれぬよう十分に注意して行動すること。

## 3. 考えていって欲しいこと

進路希望には、進学希望者が実に多い。だから、しっかりとした認識や状況に応じた行動をして欲しい。

①受験は、基本的に受験生を全員合格させるものではないという認識に立たなければならない。受験生の中から、一部をふるい落とすためのもの。だから、『なんとかなる・・・』という甘すぎる考えは捨てて、『なんとかする。』ための準備をしっかりとすること。第1に学力をつける。そして、第2に身なりを含め、言動を直す。要するに、相手に“落とす”理由を与えないような自分を創っていくこと。そして、生活にメリハリをつけること。受験だからといって、勉強だけすればいいというものではない。特別ではない。学校生活の中には当番活動や係活動がある。勉強以外は、この時期関係ないなんて考えはもつての他。そんな普段の生活の上に進路があることを忘れてはならない。

②推薦受験という受験方法がある。希望するのはもちろんいいが、自分のどこを推薦したいのか、また学校に何を推薦して欲しいのか明確にすることです。そして、当然のように周囲の者が“推薦される者”と納得できる言動を心がけること。“推薦受験”ということの理解と役割を果たすことを忘れてはならない。

③進学に限ったことではないが30人の生徒がいれば、30通りの進路がある。個々の進路は違うのです。友達と励まし合うのは必要でもちろんいいのだが、進路先は友達によって左右されるものではない。自分の進路は自分で選び、自分で切り開いていくという姿勢をしっかりと確実に持つこと。そして、そのためのやれること、できることを怠りなく続けることだ。

④必要な書類は、各自が管理すること。受験には、いくつかの書類が必要になる。例えば、願書、調査書、推薦書、自己PRカードなど、自分で作成するものもあれば、中学校で作成するものもある。そうした書類に不備や提出遅れなどがないように各自がしっかりと管理する。学校によって様々な書類や提出期限があります。それを各自がしっかりと把握しておかないと思わぬ事態を引き起こすことにもなりかねない。“自分が受験する”という認識にしっかりと立っておくべき。(特に都立受験や都内の私立高校の受験以外の受験を考えている者)そして、自己PRカードなどの下書きを見て欲しいものは、早めに取り組み提出すること。

⑤健康管理をしっかりとすること。これからの時期というもの、風邪がはやったり、季節型インフルエンザが流行したりする時期。だから、普段から感染しないように健康には、しっかりと留意して生活すること。

⑥この面談が終了する頃には、みんなの話題にも具体的な学校名などが、どんどんあがり始めるに違いない。今までにも、そうした話題はあったとは思いますが、自分のことが気になると同じぐらいに友達の進路希望や状況が気になるのかもしれない。しかし、よっぽど気をつけてそんな話をしないと、悪気はないのに友達を傷つけたり、嫌な思いをさせたり、必要以上に相手を不安にさせたりすることだってあるのです。例えば、ある学校名が話題にあがったとき、『そこ～?自分は、楽勝。』なんて感想を、“そこへ進学したかったが、現在の学力では・・・?”と断念した人が聞いたら、どんな気持ちになるのだろうか??また、今後様々な入試制度(推薦入試や一般入試、都立、私立受験、その他の受験)の日程の中で、クラスの中に進路の決まった人とこれから受験する人がまじりあう状況も、必ず生まれる。早く決まった人が、そのことをあからさまに自慢したり、安堵感あまってはしゃいでいる様子などを、これから受験を控えて緊張している人が、見たり聞いたらどのように感じるだろうか・・・?決して悪気はなかったにしろ、好ましくないことは好ましくないこととして、みんなには理解して行動して欲しいと思います。

進路関係のことで、個々が様々な不安を抱えている状況で、悪気のない落とし穴はいくらでもあるのです。軽々しい言動はつつしみ、充分すぎるほどの注意を怠らないで欲しいと思う。自分以外の人の存在を改めて理解して行動しよう。そして、どんな時にも、お互いに励ましあい、助け合う姿勢を貫いていこう。学年全員で乗り切っていこう。